

“読解、発表、作文、話し合い… 様々な場面でディベートの力 が役立っています”

みお
未桜さん 小学6年生



生徒会で皆の意見をまとめることができた

ディベートを学んだことで考える力や文章を読み解く力がつきました。国語の読解や自分の考えを述べる時、また日記や作文を書く時に、ディベートで組み立てている文章構成の方法が役立っています。6年生では生徒会長をしていますが、生徒会で皆の意見を上手くまとめることや、議事録を取る時の速記も、ディベートのレッスンが良い訓練となり身につきました。人前で発表したりご挨拶をしたりすることも得意になり、やっていた良かったことがいっぱいなのでとてもオススメです。

チームで試行錯誤するのが楽しい

自分の意見をしっかり考えて試合に臨み、説得力のあるスピーチが披露できた時に達成感を感じます。他にも試合で勝敗が決まるところや、教室には進級や表彰の制度などもあり、自分の成長が実感できるのも楽しいです。また、ディベートは自分1人ではなく、友達と協力をして、色々な工夫をしなければ勝てないので、試合前や試合中にチームで作戦を考えることも面白いです。

初めてでも楽しみながら上達できる

小松先生は大変優しく、初めての人にもディベートの基礎から面白さを丁寧に教えて下さるので、楽しく続けることができます。意見の組み立て方を間違えた時、アドバイスを下さった後「もう一度考えてごらん」と言っ
ていつも考える機会を与えて下さるので、考える力がつきます。普段のレッスンは、時に楽しく、時に真剣に、試合の時は皆自分の力を最大限発揮するように努力します。

未桜さんのお母様より

論理的思考やプレゼン力、自ら考える力が鍛えられるディベートは、これからの時代、非常に重要な力だと思っています。ディベート教室に通わせていただいてからの娘の成長も実感しており、丁寧なご指導を下さる小松先生に心から感謝しております。今まで習っていたお稽古が嫌がることもあった娘ですが、ディベート教室は嫌がるどころか楽しい！と夢中になり、今では1番好きなお稽古となっています。



スピーチのメモをとることで、要点をまとめて整理する練習になります



“ディベートを通して学べたことは数え切れない。気付いたら自分の一番好きな習い事になった”

し
适くん 小学6年生

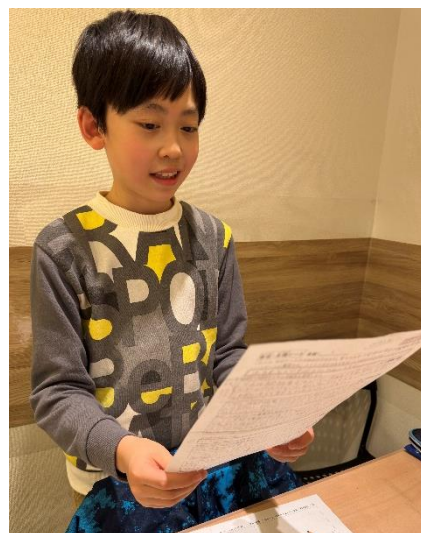


ディベートを続けたことで、「自分の考え」を示せるようになった

ディベートは、説得力のあるスピーチを考え、鋭い反論をして、相手の反論に対応するなど、とても頭を使います。また、リーダーシップやチームワークなども求められます。ディベートのテーマは身近なものから難しい社会問題までいろんなものがあります。僕は、ディベートを何年も続けたことで、いろんな物事について「自分の意見が思いつかない」「何を書いたらいいかわからない」ということがなくなり、自分なりの考えを思い付き、整理して伝えることができるようになりました。また、誰とでも仲良く話し合っグループをまとめていく力も身についたと思っています。僕以外にもどんどん上手になっていく後輩を何人も見てきました。

意見をぶつけ合っているのにみんなの仲が良い

クラスの雰囲気がとても良いのも小松先生の教室の魅力です。僕は振替でいろんなクラスに参加しましたが、どのクラスも明るくみんなの仲も良かったので、間違いなと思います。多分その理由は、ただ言い合うだけじゃなくて、議論のルールやマナーをみんなが理解して、まるで一緒にゲームをするように「ディベートを楽しんでいる」からだと思います。意見の違いを尊重し、楽しむように学ぶので、反論されても怒ったり感情的になったりする人はいません。そういう環境があるからこそ、他の人の前でも怖がらずに、自信を持って自分の意見を言うことができるのだと思います。子どもが本気で意見を戦わせているのに、みんなが冷静に楽しめるというのはすごいことだと思います。



学んだスキルはどんな仕事でも役立つと思う

ディベートは将来において魅力的なスキルセットを備えています。論理的な発言や思考はどの分野でも冷静な意思決定や問題解決に役立ち、相手の視点を理解し尊重するマナーと対話能力はコラボレーションを促進します。これからの社会を生きる上で必要とされるスキルは学校だけで身につくものではないと思います。僕はこのディベート教室に通えて本当に良かったと思っています。今までの全ての習い事の中で一番好きです。将来、大人になってから仕事をする中で、ディベート教室で身につけた様々なスキルを活かしていきたいと思っています。